

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			付き添いや座席の指定、各児童の特性によって準備をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日利用後に職員でミーティングを行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			夕礼日誌やミーティング記録をつけている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		学校によって共有方法が違い適切にできないこともある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアが必要な児童はいないが必要な場合は対応できるように整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要な場合は連絡をとるが特に連絡をとったことがない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要な場合は連絡をとるが特に連絡をとったことがない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の公園に行った際に関わることはあるが頻度はかなり少ない。また感染症の流行により機会も少ない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			日程が合えば参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々のミーティングや会議で共有
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要な場合に行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年度に3回避難訓練を実施しその都度防災センターで体験している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		該当児はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

職員による自己評価

A環境面

- ・児童発達と放課後デイ用のスペースを分けて支援できている
- ・運動プログラムも問題なく実施できる広さが確保できている

B 児童への支援内容

- ・児童発達支援は運動プログラムや手指プログラムをメインとして、個々のレベルに合わせた計画を立てて実施している
- ・放課後デイはお金の計算や運動プログラム、手指プログラムなどを計画して実施している

C 関係機関との連携

- ・ケース会議などは必要に応じて参加している
- ・送迎時などには学校とも情報共有を行なっているが、学校によって共有方法が違い適切にできないこともある

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳を日々活用して報告している。
- ・月間通信を配布している。
- ・毎日 SNS で活動報告を行なっている。
- ・定期的に写真配布を行なっている

E 非常対応

- ・年3回実施して、連絡帳や通信で親御さんへも実施状況をお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・あまりじっくり見ていないので判断できない。

B 児童への支援内容

- ・コロナ禍ということもあり、室内では難しいですが、公園やお出かけで社会活動はできている

C 事業所からの情報発信

- ・子供と親に寄り添う姿勢にとっても支えられています
- ・定期的に写真を公開してくださって、家族みんなで毎月楽しみにしています

D 非常対応

- ・見ていないだけかもしれないがわからない

事業所内での分析

【共通点】

- ・日々のプログラムやレクリエーション、行事の豊富さ
- ・SNS での配信で活動を確認いただけている
- ・定期的な写真配布で活動の様子をお伝えしている

【相違点】

- ・避難訓練の実施

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・日々子供達を楽しみながら経験を増やせるようなレクリエーションや行事を実施している。
- ・ここに応じた課題からの支援を計画して支援している。
- ・毎日 SNS での活動報告

### 事業所の改善点

- ・家族会や家族参加行事の実施
- ・緊急時の対応マニュアル配布
- ・避難訓練の実施報告

### 事業所の改善への取り組み

開設した時からコロナ禍ということもあり、家族会やご家族参加型の行事を実施できていなかったが、求められている方も多いので、状況を見ながら企画していきたい。

年3回避難訓練を実施し、防災センターでの確認も行なって、連絡帳などで報告をしているが、把握できていないというお声を数件頂いているので、よりわかりやすく周知していくようにする。

#### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

匿名でないといただけないご意見もあると思うので、こういった改善できる機会は重要と思う。

コロナ感染症も比較的落ち着いてきたため、より活発な活動やご家族参加型の行事を企画していこうと思う。

事業所名 放課後等デイサービス ジュン とつか  
担当者 西上 香織